

校長室だより

春日 (しゅんじつ)

校長 清武 直人

いざ出発！

10月30日、6年生は修学旅行。
バスに乗り込み、いざ出発！

ここは3号車、バスの中。
「では皆さん、今配った紙に、私が言う6色の色を書いてください。赤、白、緑・・・。そして、それぞれの色からイメージする人の名前を書いてください。男子は女子、女子は男子の名前を書きますよ。」と、バスガイドさん。

「それでは、発表します。赤からイメージする人は一番好きな人を表しています。」
「えーっ！俺、お母さんって書いた。」
「白からイメージする人は初恋の人です。」
「ぎゃーっ！俺、白水先生って書いた。」
「おほほお、もう手遅れよ〜！」



(@ @) (* *) (+ +)

和気あいあいとバスは長崎へ。

そして、長崎が近づくと「永井博士」のDVD。子どもたちの心は、お楽しみモードから学習モードへ切り替わっていくのであります。

いただいた言葉

☆フィールドワークで長崎市内で出会った大人の方から

「どちらの学校の子どもさんですか。とても気持ちのいい子どもたちですね。」

☆ホテルの総支配人さんから

「生徒さんのご挨拶を聞いて、春日小学校は大変すばらしい学校だと思いました。」

じゃおどり

☆龍踊りを指導してくださった方から

「たくさん学校を見てきていますが、春日小学校の生徒さんは聞く力がありますね。」

私が密かに思っていたことを、たった一度会った人たちから同じように感じていただいたことが本当にうれしかった。

龍踊りの指導者からこうも言われました。

「これは、春日小学校6年間の力ですね。」



イマジン

想像してみようよ 原爆のこと
7万数千人の命を奪ったんだ
想像してみようよ
亡くなられた人たち一人一人の顔を
そして、彼らとその家族のことを
彼らの恋人のことを
彼らが描いていた夢のことを

想像してみようよ 原爆のこと
7万数千人の罪のない人たちの夢と愛は
ある人は一瞬のうちに
ある人は苦しみながら奪い取られた

僕たちは、原爆落下中心地で
黙とうを捧げた

そして、僕たちは永遠の平和を誓った
僕たちの想像力が平和の道をつくるんだ
僕たちの想像力が明日をつくるんだ



6年生は、長崎の原爆落下中心地で平和集会を行いました。

子どもたちの真剣なまなざしが私のまぶたに焼き付きました。そして

「私たちはこれからも学び続け、だれもが幸せに生きていける平和な世界を築いていくことを誓います」

という、子どもたちの心からの誓いが私の胸を熱くしました。

少し離れた所から、外国人の御夫婦がじっと見ておられました。子どもたちの言葉が伝わったのかどうかは分かりませんが、子どもたちの表情から、そして、声の響きから、きっと平和の道を歩み続けるに違いない日本の未来に確信を持たれたのではないのでしょうか。